

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	40	予算小事業コード	5	事業名	高津区市民提案型協働事業		
事業所管課	企画課		担当者	戸田	連絡先	044-861-3131	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域の課題が多様化する状況の中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かくに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、市民の皆さんと相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していくことが必要である。
事業概要	(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者（市民）自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。 ※なお、選定された事業の概要等は個別の評価書を参照。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	3,302,000	予算額（調整後）	1,030,000	決算額	999,090	不用額	30,910
不用の理由	講師を招いて提案募集に係る説明会の開催を予定していたところ、講師を招かない形で説明会を実施したため。また、契約差金が生じたため。						
事業目標	様々な地域課題に対する市民からの提案を外部委員による審査委員会により公平に審査し、選定された地域課題の解決に向けた事業を協働のルールに則り相互に連携・協力して実施し、地域課題の解決につなげていく。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1)募集期間中に説明会を開催する。 (2)選定にあたっては、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (3)27年度実施事業については、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。 (4)26年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行う。						
事業目標を達成する上での課題等	応募団体の減少が懸念されており、積極的に参加してもらえよう募集内容や手段を検討する必要がある。						
実績	【委託先】審査委員会会議録作成業務：(株)澤速記事務所 (1)募集要項を一部変更する等の調整をした (2)提案事業の制度案内チラシを募集開始前に配布 (3)募集開始後に制度の説明会を開催 (4)28年度実施事業の募集・選定（選定事業数は1件） (5)27年度実施事業については、中間振り返りを行うなどして所管課とともに進行管理を行った。 (6)26年度実施事業について、外部委員による審査委員会により評価を行った。						
協働の視点	事業の選定から実施まで区民との協働を重視した事業であり、川崎市協働型事業のルールに則り事業を実施している。						
環境配慮への視点	委員会資料について、事前送付した資料を委員会当日にも持参していただくよう各委員に依頼し、用紙の削減に努めた。						
取組の成果	(1)チラシの配布や説明会の開催等積極的な広報を行い、5団体の応募があった。 (2)選定に際しては、公開プレゼンテーションを実施したほか、選考結果等を随時ホームページ等で広報し、選考過程の公平性・透明性を確保することができた。 (3)中間振り返りなど進行管理を行い、円滑かつ効果的に事業を実施し、地域課題の解決につなげることができた。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	翌年度以降も引き続き事業は継続するが、より応募・選定数が増えるよう改善を積んでいく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	40	予算小事業コード	05	事業名	高津区市民提案型協働事業（高齢者の地域サロン事業）		
事業所管課	高齢・障害課		担当者	坂尾	連絡先	044-861-3255	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	介護保険制度の変更により、介護予防サービスの対象者（要支援1・2の人）や、その予備軍の地域での受入体制の整備が課題となっている。今後、独居や高齢者2人世帯が増加していく中で、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続け、生き抜くための環境づくりが必要である。現在、介護施設や訪問介護など、高齢者が「世話をされる、かばわれる」という環境は既に多く存在する。従って、それとは異なった「積極的に交流し、情報交換を図り、地震の特技を生かして活動する」といった「自らの意思を持って主体的に動く高齢者」のための地域拠点を、「コミュニティカフェ」を活用して創り出す。
事業概要	高齢者の外出機会の確保と、日中の居場所作り、そして高齢者の異変を発見するための見守りのため、コミュニティカフェスペースで、敷居が低く間口の広い、高齢者のサロンを開催する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	726,760円	予算額（調整後）	726,760円	決算額	726,760円	不用額	0円
不用の理由							
事業目標	① 閉じ籠りがちな高齢者に外出して交流する機会を提供するため、高齢者のサロンを開催する。延べ200名の参加、その半数である100名の新規参加を目指す。 ② 場を必要としている潜在的閉じこもり高齢者に情報が確実に伝わることを目指す。 ③ サロン参加者が継続して活動するための受け皿づくりを行う。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	① 平成27年7月から平成28年2月まで、毎月1回高齢者のサロンを開催する。 ② サロンの広報や高齢者の生活に役立つ情報の提供のため、情報誌を発行する。 ③ サロン参加者の主体的・継続的な活動に繋がるように、活動の機会を提供する。						
事業目標を達成する上での課題等	① 閉じこもりがちな高齢者にどのようにサロン開催の情報を届けるか。 ② サロン参加者を、どのように主体的・継続的な活動に繋げていくか。						
実績	委託先 NPO法人コスモス 開催場所 コミュニティカフェ・ココテ 第1回 7月16日 午前 みんなで歌おう 19名 午後 笑いの効用を学ぼう 20名 曇時々雨 第2回 8月20日 午前 とっておきの1枚の撮り方 13名 午後 終活どうする 21名 曇時々雨 第3回 9月17日 午前 美味しいコーヒーを楽しもう 7名 午後 レッツ ロコ・トレ 13名 雨のち曇 第4回 10月15日 午前 年長さんと一緒に昔遊び 15名 午後 元気につながる栄養の採り方 6名 晴のち曇 第5回 11月19日 午前 アラブ圏に行ってみれば 12名 午後 正しい口腔ケアで健康維持 8名 雨のち曇 第6回 12月17日 午前 お正月にゆったりお茶を楽しむ 13名 午後 介護保険制度を知ろう 10名 曇のち雨 第7回 1月21日 午前 楽しい俳句 14名 午後 自宅で最期を迎えることは可能なの 19名 晴のち曇 第8回 2月18日 昼食をとりながらの懇談会 15名 曇のち晴						
協働の視点	NPO法人コスモスと協働で実施						
環境配慮への視点	資料は再生紙を利用						
取組の成果	① 高齢者延べ205人（うち95名が新規参加）に対して、外出して交流する機会を提供することが出来た。 ② 終活、音読の会という自主活動を立ち上げることが出来た。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する			
	28年度もNPO法人コスモスと協働で、高齢者のサロンを開催する。ただし① サロンを半日単位で月2回開催し、参加の高齢者に役割を持ってもらうよう働きかける、② 地域の関係者と連携し、協力を得て認知症カフェを開催する、③ サロンの取り組みが広がるよう、ノウハウの移転、情報提供を行う という3点を見直しのうえ実施する。			

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	40	事業名	高津区地域課題対応事業外部評価事業		
事業所管課	企画課		担当者	蟬川	連絡先	044-861-3131	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区地域課題対応事業の執行にあたっては、区役所による内部評価のほか、外部の視点からの評価を行うことにより、事業の透明性を確保するとともに、より区民ニーズを反映し、地域課題の解決につながるよう事業の改善を図る必要がある。
事業概要	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、より踏み込んだ事業の改善を図るため、外部評価懇談会による事業評価を行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	818,000	予算額(調整後)	818,000	決算額	817,800	不用額	200
不用の理由	委託料における契約差金						
事業目標	(1)外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映した、地域の課題解決につながる事業への踏み込んだ改善を図る。 (2)評価を通じて職員の意識改革、事業の透明性の向上を図る。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	平成26年度高津区地域課題対応事業のうち、6事業を対象に事業評価を行う。 高津区地域包括支援ネットワーク推進事業、ICTを活用した魅力発信事業、高津公園体探推進事業、「たちばな農のあるまちづくり」推進事業、高津区政情報発信事業、地域コミュニティ施策推進事業						
事業目標を達成する上での課題等	外部評価の結果を、各事業の次年度以降の事業展開に適切に反映させていくことが課題である。						
実績	【委託先】株式会社カイト (1)6事業を対象に、各委員による評価を実施した。 (2)委員による評価書及び各課の対応方針をまとめた「高津区外部評価評価結果及び対応方針表」を、高津区ホームページで公開した。						
協働の視点	外部評価の実施にあたっては、評価項目として「協働の視点」の項目が取り入れられており、対象事業の協働の状況について確認が行われている。						
環境配慮への視点	各事業の外部評価を行うにあたり、「環境配慮の視点」の項目を設定し、対象事業における環境配慮の視点の意識を促進することができた。						
取組の成果	外部評価結果を踏まえ、平成27年度中に対応できる点は改善し、また、平成28年度予算要求でも事業手法の改善を図ることができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	平成28年度は、平成27年度高津区地域課題対応事業のうち6事業を対象に外部評価を実施し、事業改善へ繋げていく。また、過去の評価結果を踏まえ、平成29年度に評価を行う対象事業を選定する。